

今年も確定申告の時期になり、テレビCMなどでe-Tax利用を盛んにアピールしている。「e-Tax」はたしかに便利だが、手続きや手順が多くてまだまだやっかい。私も、これまで何回か利用してきたが、悪戦苦闘だった。昨年はマイナンバーカードの取得が遅れてe-Taxが利用出来ず、ネットで申告書を作成しての「書面提出」だったので、今年こそはと張り切って「e-Tax」に臨んだのだが。。。。。

最初に、開いたブラウザがいつもの「Google Chrome」だったため、途中で進まなくなった。e-Taxの対象ブラウザは「Internet Explorer」だけなので、やり直す。そういえば、前も同じ過ちをした。他のブラウザでも入力出来るようにすべきだ。

次に、マイナンバーカードを取得して初めてe-Taxを利用する場合は、電子証明書の再登録をせねばならない。そこでつまずいた。

パスワード入力で、指定のパスワードがわからず、いろいろなパスワードを入力してエラーを繰り返すうち、入力がロックされてしまった。5回失敗するとロックされてしまう。ロック解除は市町村の窓口で手続きする必要があります、の表示。

そこで、市役所に問い合わせたら税務署に聞いてくれとつれない。市町村の窓口とは市役所ではないのか。税務署に聞いたら、暫く待たされて、暗証番号の再発行が必要で、国税庁のページから再発行依頼の用紙を印刷して税務署に届け出、新しい暗証番号を取得してやり直して下さい。。。ネット上で出来ないのか。いいかげんにしろ！

腹が立ってe-Taxは投げ出し、昨年同様申請書の作成だけをネットで行い、プリントアウトして近くの納付会場に提出した。納付会場では、受付で順番を待つ人の列を横目に、ボックスに書類を入れるだけで簡単に済んだ。この方がよっぽど手っ取り早い。

トラブルの元のパスワードは、マイナンバーカード取得時に設定したパスワードということで、調べたら「パスワード」ではなく「暗証番号」となっている。このために分からなかった。名称くらい統一しろと税務署の担当に指摘したら、承知しているようで恐縮していた。「パスワード」やら「暗証番号」やら、本当にややこしい。

国税庁のページには、「e-Tax コーナー」と「確定申告書等作成コーナー」がある。「確定申告書等作成コーナー」はWebを使った確定申告書作成サービス。所定のページの空欄に数字を入力していくと、確定申告書が完成する。これを印刷して、税務署なり納付会場なりに持っていくか郵送すればいい。

今年は医療費の領収書が多く、その整理が厄介だったが、パソコンの入力は意外と簡単。所定の欄に数字を入力していくだけで瞬時に計算し申告書を作成してくれる。事前準備や各種登録、「パスワード」、「暗証番号」のややこしい「e-Tax」よりは、この「書面提出」の方が簡単でいい。これからチャレンジされる方は、この「確定申告書等作成コーナー」の利用をおすすめしたい。

それにしても、e-Taxがスタートしてもう10年以上たつので、もう少し小慣れたものになっているだろうと思っていたが、まだまだ手順が多く分かりづらい。セキュリティ上やむを得ないとはいえ、まだまだ改良の余地がたくさんありそうだ。

テレビCMで芸能人にe-Taxを体験させて「思ったより簡単でした～」なんてアピールしているけど、そんなに簡単ではないのだ。

<後日談>

今後のために、電子証明書の再登録だけでもしておこうと、税務署の担当の言う通り暗証番号の変更手続きをし、ほどなく税務署から新しい暗証番号が送られてきた。

国税庁のページを開き、これを入力したところ、またエラーとなり、市町村の窓口にお問い合わせください、の表示。この暗証番号が原因ではないようだ。がっかり！

ほとほといやになったが、ここまできたら徹底的にやってやろうと、再び市役所に電話で問い合わせた。こんどは、「マイナンバーカード電子証明書暗証番号」の変更をして下さいとのこと。最初の間合せの仕方がまずかったのかも知れないが、税務署の担当者もよくわかっていない。結果的に、税務署の暗証番号変更は不要だった。

仕方なく市役所に出向いて暗証番号を変更した。窓口で一言文句を言おうと思ったが、かわいい娘だったので止めた。その番号で入力して、ようやく再登録が完了した。「暗証番号」「パスワード」にさんざん振り回された「e-Tax」でした。

来年こそ、e-Tax で申告しよう。

2017/02/27